

資料

アメリカ人口問題資料(一)

嘗てローズベルトによつて創設された國家資源調査局の機能と任務とを國家計画局のそれと合せて引きついで國家資源委員会(National Resources Committee) は國家資源のよりよき保存と利用の計画化を目的とする連邦機関であるが、同委員会は特に人口に関する基本的資料の整備のために人口専門家を委員とする人口問題委員会(Committee on Population Problems)を附設し、人口問題関係の諸般の資料を検討させた。その報告書は The Problem of Changing Population(1938) その他数冊の特殊報告書として過ぐる戦時中に発表せられた。アメリカ最近の人口問題を大観するのに極めて便利なもので、ここにアメリカ人口問題資料としてその大要を紹介する次第である。

なお右人口問題委員会の委員氏名は左の如くである。

Edwin B. Wilson (Chairman)

L. C. Gray

William F. Ogburn

David L. Bedoall

Charles H. Judd

Warlin S. Thompson

其の一 総説 アメリカ人口問題

故 左右田 武夫

はし が き

以下アメリカ人口問題の序論的総説として紹介するところは上記委員会が大部の報告書の総括的序論として編纂した別冊の小パンフレット「ポピュレーション・プロブレム」の大意を翻譯したもので、前調査部長、故左右田技官の手になる備忘録の手記に本多技官が一部補筆せるものである。

緒言

われわれが静止人口または減退人口の時代に近づきつつあるということも多くはアメリカ人にとつて一種の驚きを與えているようである。われわれの國家的發展は人口の急激な發展にいらざられてきた。われわれの民主制度の下における國家資源の保存と利用の計画は人口中の凡ての集團に所謂アメリカ的生活水準を漸次可能ならしめることを目的とする。われわれの國家資源、産業施設及び社会的協同の凡ての形式は人々の福祉に貢献する限りにおいて價值がある。國家政策はかくてアメリカ人口の趨勢の問題について深甚なる考慮を拂わねばならない。

國家資源の賢明なる利用計画を援助するために國家資源委員会はその科学委員会に対しわれわれの最も緊急を要する人口問題の研究をなすよう要望した。科学委員会はこの問題に対する報告書を調製するために人口専門

家の特別委員会を創設した。その報告書の概要は以下のとおりである。

静止人口への動向

アメリカの人口はもう今までのようには増加していない。大量の移入民が許されるか、思いがけないような出生率の増加がないかぎり、人口増加率は減少しつづけ、一九七五年ごろには多分一億六千万より多くはない一頂点に達するであろう。そしてその時から人口は停止し又は減少しはじめるであろう。

人口の予測をするために専門委員会は種々の出生率と種々の移入民量との影響を考慮しつつ最高と最低の総人口を推計した。

人口増加の減少は第一に出生率の減退によつて説明せられる。出生率が過去一世紀ちかくの間減少しつづけてきたということは一般の切実な注意を感かなかつた。最近までこの減少は死亡率の減少や外國からの莫大な移入民、それにアメリカ人口がその年齢構成上他の國々に比較して異常に大きい妊孕年齢女子の割合をもつていたという事実によつて相殺されていたのである。しかし出生率の減少は今やこれらの人口を増加させる他の諸要因を凌駕するに到つた。

人口の自然増加は出生の死亡に対する超過によつて測定される。人口の自然増加は二〇年代のはじめ(一九二〇—二四年)に年百五十万の時に達した。それから十年後(一九三〇—三四四年)にはそれは年平均百万に達しなかつた。移入民の減少により総人口の増加の減退は自然増加の減退よりも更に一層急速であつた。

しかし停止人口への予想は何も特別の警戒を要する性質のものではない。人口専門家の最もひかえめな予測によつても一九八〇年のアメリカ人

口は今日のそれと同様である。多産的で強力な外國人口に対し國家を防護するために大きな人口を必要とするという考えは過去の歴史に依拠した考で、現代の軍事的体験からは殆んど支持し難いものである。今日においては富や技術的熟練、人々の組織や志氣といったものはその軍事的重要性において單なる数の力より恐らく遙かに大きいといつてよいのである。のみならず、軍事的力の増大を目的とする國家の人口増加政策は一般の生活水準を引き下げることによつて終局において却つて軍事的弱点を招來することにならう。

静止人口の予想はしかし産業と政治に対して重大な意義をもっている。過去において人口の増加は市場を拡大することにより企業的發展に大きな寄與をしてきた。アメリカの財産所有者は人口増加により莫大な利益を收得した。將來におけるアメリカ商品のための國內市場の継続的増加は人口の量約増加によつては得られない。それは有効な消費者需要の増加、生産力の増加、所得分配の一般化によつて求められねばならぬ。

静止人口または減退人口への轉化は國民生活にとつて一般的に有利である。それはこの國の國民の各々が他の古い世界の國々の國民よりも平均してより多くの支配し得る耕地、鉱物その他の自然資源をもちつづけることを意味するからである。われわれの資源は、もし賢明かつ有効に保存し利用せられるならば、高い生活水準の物質的基礎を供給するであろう。

人口の年齢構成の変動

一九七五年の静止人口を一九〇〇年の急速な増加人口に比較してみると、老年層と幼年層人口の比率に著しい変化をきたすことになる。即ち老人が比較的になくなり、子供と若者が少くなる。二〇歳乃至六〇歳の人口を一〇〇とする割合においてみると、二〇歳未満の人口割合は約半分に

なり、六〇歳以上のそれは二倍以上になつてくる。即ち生産年齢人口によつて養われねばならぬ老齢人口は非常に増加することになるが、その反面、同じく養育されねばならぬ子供の数は減少することになる。

このような趨勢はまた別の方法によつても説明せられる。一九三〇年と四〇年の中間において六五歳以上の人口は七百五十万であつた。それから四十五年後の一九八〇年には右年齢層の人口は大約二千二百万となることになる。また小学校学齡児童数の減少はすでに一九三〇年に顯著になつてゐる。一九三〇年から三四年の間に小学校の在籍児童数は三十万以上も減少した。ハイスクール（一四歳乃至七歳）の学齡子供数は一九四〇年までは増加をつづけるが、それから以後は同様に減少過程に這入りはじめる。

しかしわれわれはアメリカ國民がそう急速に老齡化するものではないことを強調せねばならぬ。生産年齢人口（二〇歳乃至六四歳）の総人口に対する割合は十九世紀より二十世紀にかけて明らかに増大してきた。著しい変化は両極端の年齢層においておきるので、中間の年齢層においてではないのである。

六五歳以上の人口の増大は社会的保障立法の必要性から國家の注意を感くに到つてゐる。しかし生産年齢人口の平均年齢の増大ということにも注意をむける必要がある。今後の数十年間に予想せられる最も大きな変遷は若い成人に比し比較的老齡の生産年齢人口が増加するということである。

一九三〇年から一九七五年までの間に推定される二〇——四四歳の人口の増加は六%であるが、四五——六四歳の人口は六九%もの増加を予定されているのである。

産業はこのような労働供給の変化に適應せねばならぬし、社会は莫大な負担に當面するであろう。その上に、老齡の労働者は非發展的職業に集中

する傾向がある。これらの事情は雇傭條件及び技術的变化のためにその職場を失つた老齡労働者たちの適應性を再訓練し増大させるための諸施設がますます重大なる意義を有するに到るであろうことを示唆する。

人口年齢構成の変遷は各種の公共的建設計画にとつても重大なる関連をもつてゐる。國民全体として学齡児童が増加しないということ、しかし又老齡者のための家とか精神病院とかいうような特殊な施設を必要とする老齡者が増加するということは十分に認識されねばならぬ。

資源に対する人口の分布

アメリカ合衆國は他の國々に較べて全体として人口は過剰でない。この國の資源に対する人口圧力は継続的な經濟發展を阻害するほど深刻な大いさのものではない。しかしながら、國の或る部分においては經濟的資源に対する人口の圧力が幾百万の人々にとつての永久的な貧困と文化的退却をもたらす基礎的な原因となつてゐる。

人口と資源との間の不均衡の概略的觀察は大地域別の人口当り平均所得を比較することによつてえられよう。一九二九年における推算によると、人口当り平均所得は極西地方と北東地方とが最高である。北西地方と南西地方とがこれにつき、南東地方が最低である。且つその数字は全國平均の半分にも達していない。南東地方の地域別にみたかくの如き低生活水準は、特に農村人口だけを對象として比較してみても亦同様に認められる。二十年代の中間における南東地方の農民の平均生産力は合衆國の他の農民の半分にも及ばず、イギリスの標準的農民の所得よりかなり低いのである。南東地方は全國農業人口の四〇%をもつてゐるにもかかわらずその農耕地は全國の一七%しかもつていないという事實は右の事情を説明する一つの手がかりとなる。地質、氣候、農耕法、市場への近かさなどにおける各地

方の差異は確かに割引きされねばならないが、概して合衆國の北部及び西部における農民は古い南部の農民に比較して土壤により恵まれた生活を営みうる地位におかれている。

南東地方における過剰人口と、その結果としての自然資源の涸渇との第一の原因は人口の高い再生産率にある。一九三〇—三四年の間の全國人口の自然増加の半分以上は人口において略々三分の一を占めるに過ぎない南部及び北西地方においてなされている。例えばノースカロライナ州の人口自然増加は人口において同州の二倍以上をもつマサチューセツツ、ロードアイランド、及びコンネティカット三州のそれを合計したものと同様であつた。

右と同様な農民人口と農業資源との間の不均衡は、多少ちがつた理由にはよるが、大平原地帯にも発生した。第一次世界大戦による龐大な食糧の需要によつてこの地方の新しい土地の耕作が促進されると共に、残つた未耕作地も過度に利用された。そして自然の草の覆をはぎとられた耕作地は風と雨の侵蝕にさらされるに到つた。これらの累積的弊害は最近うちつづく烈しい旱魃が廣汎な不作をもたらし、また人畜を侵害し幾百万エーカーの土地の肥沃な表土を奪い去つて不毛地と化した砂塵の襲來を結果するに到るまでは此の地方の農民自身さえこれを認識することがなかつた。そして今やこの地方の農業人口の密度は稀薄ではあるが、しかもこの土地で十分に扶養されるには余りに多過ぎるということが認められるに到つた。このような土地利用の変化によつて大平原地方は現在人口の僅かに三分の二を養うるに過ぎないと推定せられている。

過剰人口は高出生率や大量移入民によつて齎らされるばかりでなく、その人口が生活のよりどころとしている自然資源の涸渇によつても亦もたら

される。森林資源の欠乏によつてそのような事態の発生した地域の著しい例としてはミシガン州の北部の郡、ウイコンシン州及びミネソタ州を挙げる事ができよう。森林地帯の再殖林や輪伐的管理その他できうる限りの方策を実施したにも拘らず、なおこの地域に有利な就職口を期待し得ない相当多数の人々が残されている。

同様の不均衡は炭鉱地帯においても惹起された。競争燃料の出現、より採算的な炭鉱の開発、採鉱法の機械化その他の原因によつて炭鉱村は行き詰り、乃至は不完全就業の状態に陥つた。鉱業人口の多くは炭鉱以外の、乃至はその補助となる暮し方を発見する必要がある。そしてこの種の鉱業人口の大多数がその経済的資源に対し既に過剰人口の状況下にあるアラチャ地方に存在することは彼等の窮状をより一層深刻化している。この地方の農業資源は現在の農民を扶養するにも十分でなく、まして失業化せる炭鉱業者を養ふことなどは不可能事なのである。

資源の再調整

アメリカ人口の異常な移動性は資源の涸渇せる地域や極端な高出生率地域の大量の過剰人口をさえ防止する。人口の地域移動の実情は一九三〇年におけるカリフォルニア州を除く各州はすべて他の州へ州内出生人口の一五%以上をも送り出しているという事実によつても指摘せられよう。國全体としてみると同じく一九三〇年に國內出生の総人口——白人二千二百万、黒人三百万——の殆んど四分の一は彼等の生まれた州以外の地で生活していた。

この龐大な人口移動は國內の各地域間の不斷の人口交流の結果であるが、しかし次の二つの主要な動向が特に顯著である。

一、新開地、鉱山、西部地方の職場への移動、アレガニー高原を越えて、

オハイオ、ミシシッピ、溪谷、大草原地帯、太平洋海岸、そして最後には大平原地方の乾燥農業地帯への動き。

二、国内の各地域における商工業地帯への動き。それは特にミッドル・アトランティック、南部ニューイングランド、大湖地方及び太平洋地区について顯著である。この第二の型の移動は従来新就業地域として扱われた地域からの再度の人口移動である。

そこで一九三〇年についてみると、ミシシッピ河の東側で生まれた五百万の人間はその西側で生活していた。しかし北東地方の諸州はミシシッピ河の西側生まれの人口百六十五万以上と、メーソン河デイクソン河の線の南側生まれの人口三百万とを包含している。

最近の十年間における国内人口移動の顯著な形態は農村から都市への動きである。都市は農村青年の大量の消費者である。一九二〇年から一九三〇年の間に一九二〇年に一〇歳乃至二〇歳であつた農村の少年少女の四〇％は農村を立ち去つていたのである。二〇歳乃至五〇歳の年齢層ではこの割合は低下している。この都市への人口移動は、都市がその人口を維持せねばならぬ以上、継続せられねばならぬものである。一九三〇年の合衆国における非農村人口は人口を再生産するに足るだけの十分の子供をもつていなかった。これに対し農村においては妊孕年齢人口を六二％増加させるに十分なほどの子供が存在していたのである。

農村が、その養育費を漸く返済させ得る頃に到るや都市へ移動さしてやうところの多くの子供らのために、多大の負担を背負いつつあることは明瞭である。即ちこの人口移動によつて多大の金高が農村から都市へ移動するわけである。もしいま子供一人の養育費(学校等の公共費を含む)を年一五〇ドルとすると、一五歳の農村青年は二、〇〇〇乃至二、五〇〇ドルの

投資に値する。この割合で一九二〇年乃至一九三〇年間の農村からの純移動六百万人は農村社会が都市に対し実に百四十億ドルに達する富を寄與したことになる。

これらの大体自動的な国内人口移動は自然資源や経済的機會に対し人口のよりよき配置を招来する傾向をもつている。二〇年代において移民の大部分はより大きな経済的機會の場所を発見した。或る例外はあるが、不利な土地はより有利な土地に対してその人口を喪失していつた。最も繁栄しない社会(主として農村)は最も繁栄している社会(大体都市と工業社会)に対しその人口を喪失した。然しながらこのような国内的調整にも拘らず、前述のごとく、多少の過剰人口地帯は残つている。

資源に対する人口のこの不断の調整作用を促進するために政府が方策を施すべきか如何かは重大な問題である。永久的貧困に悩まされている家族の平均生活水準を高めるために限られた機会しかもたない農村からの労働の自由な移動は奨励されねばなるまい。農業に不適当な土地を政府が買上げ、厚生その他の利用へ轉換することも同様の目的に添うたものである。これらの過剰人口地域においては新しい企業の發展と、より多角的な農業に向つての努力がなされねばならぬ。そして政府がこれらの地域を更に悪化せしむるような方策を避くべきことはいうまでもない。例えば大きな過剰人口をもつ農村地域へ他の國々から不熟練労働者の入殖を奨励してはならぬ。また高い運賃率の如き人工的障害によつて既に経済的に圧迫されている地域に一層の悪條件を付け加えるようなことがあつてはならぬ。

差別出生率

人口増加率の遞減に伴つて次の世代が養育される環境はますます重要なものとなつてくる。国内のすべての部分における凡ゆる種類の家族が同様

の割合で減少するのであるか。それとも漸次に人々の性格を變革するよう
な工合に國內の異なる部分における違つた種類の人口の相異なる人口再生産率
が存在するのであろうか。

(イ) 地理的差異、特に南東地方のような農業地域の人々は他の地域の人
人よりも再生産がより急速である。もし現在の出生率と死亡率とが継続
するとするならばこの國の相異なる部分の再生産率における差異は更に一層
大きなものとなるであろう。

人口専門委員は新しく生まれた千人の女子が一生の間に生む女兒の數
を調査することによつて出生率を測定する尺度を工夫した。或る地域の
人口を維持するためにはこれら千人の女子はその一生の間に千人より以
上の女兒を生まなければならぬ。女兒が妊孕年齢に達するまでに生ずる
死亡を補うにたるだけの余分の出生が必要なのである。この方法を用い
ることによつてアメリカの全州中その四分の一に及ぶ各州の白人再生産
率はその人口を再生産することができないほど低いということが発見さ
れた。

低い再生産率の州郡は南ニューイングランドから西にむかい中西部地
方の諸州、オハイオ川の北部を通り、カンサス、ネグラスカ、コロラッ
ドの諸州に達する。太平洋諸州とフロリダが更に此の群に加えられる。
ミシガン州を除き高度に都市化し工業化せる州がすべて包含されてい
ることを注意せねばならぬ。

これに対し人口の維持は再生産率の高い州に依存せねばならぬ。農業
的な南東地方、南西地方(ポトマック及びオハイオ川の南部から西はロ
ツキー山脈まで)の各州は高い出生率の地域である。ユタ、ノースダ
コダ、アリゾナ、アーカンサス、ケンタツキー、ウエストバーヂニア、

ニューメキシコは特に高い出生率で異色がある。更に小さい地域でアメ
リカ最高の出生率を示すものは南部ウエストバーヂニア、西南バーヂニ
ア、西部ノースカロライナ、東部ケンタツキー、東部テツネツシーの諸
郡である。

(ロ) 民族的差異、これまで合衆國におけるネグロの數は白人、特に國內
生まれの白人に比較して急速に増加しているということが信ぜられてい
たが、一九三〇年現在の出生率についていえば、出生率はこれ以上低下
しないと仮定して、白人人口は倍加するのに二五〇年を要することにな
るのに対し、ネグロ人口の倍加には五四〇年を要することになる。この
事實はネグロ人口が白人を追ひ越しはしないかという觀念に判決を下す
ものである。その上に北部都市におけるネグロ移入人口は著しい出生
率の減退をきたしている。即ち一九二五—二九年都市地域において國內
生まれ白人の女子の出生率はその人口再生産率に一四%だけ不足してい
たが、これに対しネグロの女子におけるそれは二八%の不足を示してい
た。もしネグロの都市移動が促進されるならば、ネグロ全体の人口再生
産率は更に一層低下するであろう。勿論予期し難い因子がこの予測を不
当ならしめるかもしれないことはいうまでもない。

(ハ) 經濟狀態と出生率、高い經濟狀態は低い出生率を伴い、反対に貧乏
な家族は平均多くの子供をもつということは絶対に疑いない事實であ
る。出生率は合衆國の全地域における生活水準の向上に伴つて急速に低
下する。

合衆國における最も貧困な地域の出生率はその人口を永続的に再生産
するに必要な率を七七%も超過している。そして最も生活水準の高い地
域における人口再生産力の一七%の不足と対立している。

農村人口において最も貧困な農村に生活する女子の間に出生率は最高を示している。最も貧困な地域においては現存の人口を維持するに必要な子供数の二倍以上にも達する子供がいる。これら全地域に亘り出生率の減少のための何らかの方策がなされねばならぬ。さもなければ、相当地な移出民を出さぬ限り、最貧困農業地域の農村人口は一層深刻な貧困化を伴いつつ急速に増加するであろう。都市においても同様の貧富による出生率の差異が認められる。例えばシカゴでは出生率が家賃月三〇ドル以下のものは月七五ドル以上のものに比較して二倍以上の高さをもっていることが明らかにされた。同様に、不熟練労働者の出生率は知識階級の家族に比較して実際に高いということも明らかにされている。また相当に乃至は高度に教育された夫婦は無学な夫婦に比較して平均して子供数が少いということも実証された。大体において高い学校のまたは同種の訓練を必要とするような職業に従事している都市的勤労者の家族は再生産に足るだけの子供数をもっていない。

現実の差別出生率は次の世代を継ぐべき子供らの不当に大なる部分を貧困の惨害に遭遇せしめる。のみならず、貧困な両親から生まれるより多い平均子供数は國家人口を再生産するための経済的負担を不均等に配分し、國家人口の再生産という特殊な負担を最少の負担能力しかもたない家族の上におくものである。

國民の健康と厚生

人口の數と分布の統計は國民の健康と肉体的福祉のより重要な事項については何もものをも與えてくれない。事実われわれは國民の肉体的状態について満足するに足る統計的智識を欠いている。しかしこれらの事項についての洞察に寄與し重要な趨勢を示唆するような実証的資料の断片は存在する。

過去百年間における顯著な發展は之まで毎年多大の生命を犠牲にしてきた傳染病の征服であつた。十九世紀の間中この國を周期的に襲つたコレラと黄熱病の流行は全く存在しなくなつた。天然痘は極めて稀れである。チブス熱の部分的征服は公衆衛生分野における一つの顯著な功績である。これらの推移は死亡率を低下させ、百年以前に較べると人々の生命を相当に延長させた。

右の如き一般的進歩の承認は、然しながら、この國の異なる集團の厚生における差別を無視せしめるものではない。想像せられるように、不健康の量は経済的狀態に反比例して變化する。貧富の間における健康の差異は子供について最も顯著に現われる。グリーンランド、シカゴ及びニューヨークからの報告によれば、富裕階級の地域に対比し貧困地区の乳兒死亡は二倍であるという。

國民の健康における重視すべき差異は同様に地域的にも存在する。結核の最高死亡率はアリゾナ、ニューメキシコ、コロラド及びネバダに見出されるが、しかし之はこれらの地方の健康によい氣候を求めて他地方から病者が移入してくることにその大部分の理由を負うていようである。が結核死亡の異常に高いテンネッシー、バージニア、ケンタッキー及びメリーランドにはそのような説明は適用し難い。その高結核死亡率は、大体において、その低い經濟狀態、貧しい食事、それに恐らく一般的な無知のために最善の闘病法を知らぬというような社会的條件によつて説明せられるであろう。

不適当な栄養による不健康や低い生活力に人口の相当多くの部分が悩まされているということが認められはじめている。肉体的健康は根本的に食

事によつて影響せられる。人々の活力に対する栄養不良の影響を測定することは明らかに不可能であるけれども、食事の欠陥による疾病の死亡状況についてその一端を観察することはできる。ペラグラの死亡率の地域的差別は之を最もよく明示するものである。十分に食糧のないこと乃至は悪い種類の食事は結核のような種類の病気に患ひ易くする。十分の金銭をもつていなければ勿論正常な食物をかうことができない。が同じ支出でも正常な食事により接近するようにすることはできる。

肉体的発達と健康の改善については過去わずか二三十年間に著しい進歩が成就された。人々は五十年前に比較するとずつと長身になり、胸囲も廣くなつた。出生時における平均余命は十七年以上も延長された。しかし、チブス熱の如きは或る地域では今日もなお不必要に大きな犠牲を出している。この國の他の地域において既に達成されている健康的に最も恵まれた條件が國のすべての部分における全集團に拡大されるならば、毎年約四十万からの死亡を減少させることができるであらう。

機会の均等

人口の趨勢を調査し研究するということは個性の發展のための機会の均等というアメリカ的理想を達成するための不断の闘争において國家、州、地方の当局者が彼らの努力を向けなければならぬ方向を指示する方向板を提供せんがためである。

一般の注意はまづ經濟的機会の問題に向けられる。或る地域の狀勢は自然資源を人口との不利な關係に制限されているということが觀察された。かかる地域の生活水準を引きあげる可能性は現在人口の一部を他へ移動させるか、または經濟的調整の新しい型の發展によるかである。しかし機会に恵まれぬ地帯からの人口の有効な移動は他の地域の産業的または商業的發

展に依存せねばならぬ。雇傭機会の一般的増加は、地域的過剰人口の問題を解決するためにも、最も根本的な問題となる。数百万の労働者の失業は悲劇であり、明らかに人的資源の浪費である。公共に対する潜在的貢獻は實現されずに放置され、個人の發展と幸福は毀損せられる。完全な人口配置はより適當にして進歩的なる經濟の樹立に依存する。

國の各地方に大きな教育の不均衡が存在するということには明らかな証拠がある。一般に成人に対する子供の割合の大きな地域は特に教育的利便が最も不適当な状態にある。子供の教育費の負担状況は二〇歳乃至六〇歳の生産年齢人口千に対する小学校學齡兒童数の割合によつて測定せられよう。その数字はサウスカロライナ五二三、ノースカロライナ四九一、ウエストバージニア四三八、アラバマ四一一、ニューメキシコ四四五、ユタ四三八となつている。がカリフォルニアではその數値は僅かに二二五であり、ニューヨークでは二五四、イリノイスでは二七〇にすぎぬ。即ち教育の必要ある子供の人口に対する相對的負担は上記の六州においてはニューヨークのそれに対し七〇%から一〇〇%ほど高いことになる。特に田舎の青年によい學校が供給されねばならぬ。國全体として五歳——一七歳の學齡兒童の三一%は農村に住んでゐるにも拘らず、國民所得においては（ブルッキング研究所の一九二九年推計によると）僅かに九%が農村人口に歸屬するに過ぎないのである。極西地方を除いては合衆國の各地域に亘つて農村人口は國民所得の割合におけるより一層大きな割合の學齡兒童をもつていたのであるが、この子供數と國民所得との間の不均衡は南東地方の諸州において特に驚くべき程度に達する。南東諸州の農村人口は全國學齡兒童の一三%を抱えているにも拘らず、國民所得においては僅か二%を受けとつてゐるにすぎぬ。實際において教育的機会の僅少な地域は人口維持

に必要な高い出生率をもつ地域である。これらの地域からその人口を再生産し得ない都市やその他の地域へ人口、特に大部分は若い人口は移動する。しかし將來の國內移動の主要源泉であるこれらの地域におけるその教育的機會は全國的標準より著しく低いのである。学校の学期は短かく、教師は不適当であり、通学學齡兒童の割合は殊更に低く、學童當り教育費は少く、そして學課は劣悪である。そしてこのような教育的機會の貧弱さは努力の不足によるのではなく、たゞその地域があまり貧困であるという事実によるものである。實際、貧困な各州は一般に富裕な諸州に対比して適当な學校を維持するために異常な努力をしているのであるが、それにも拘らず貧弱な施設しかもつていないのである。

合衆國においては教育は純粹に地方的事業であるとされている。上記の大きな不平等はその結果といふべきもので、それが果して本當にあるべき在り方であるか如何かをアメリカ人は今日篤と考へねばなるまい。過去においてアメリカ人を特徴づけそして將來も亦かわることがないであろう顯著な人口移動に伴つて、或る地域の文化的智的水準はその影響を他の地域の發展の上に及ぼさざるをえぬ。よきにつけ悪しきにつけ移動者たちは彼らが成人となつて生活する社会的、經濟的、または政治的生活共同体の中に道入り込む。彼らは彼ら自身と共に彼らの知識と無智とを持ちきたし、また社会的諸政策の方向に巧みに參與する能力とまた非能力とをもち込んでくるのである。

其他の研究

人口に関する多くの事柄はなお粗雑にしてまた不完全にしか判明していない。國勢調査は十年目毎で、その間のことは不明である。しかも集計せられる材料は限られている。國勢調査は是非とも五年目毎に行わねばならぬ。

また中央政府に所属する人口研究のための正規の研究者群も増員されねばならぬ。その部門は多くの仕事に分かれるであろうが、その計画を強力に遂行するに十分な費用も不足している。

地方の独立性の大きい合衆國においては人口研究に関する地方的研究者の強化と増員についても特に努力されねばならぬ。かかる地方的研究者は人口の經濟的及び社会的關係について、また移民や再生産や健康などについて重要な研究を遂行するであろう。かつ之らの事項については國土計画局の仕事の増加も考へねばならぬ。

其の二 社会經濟的的局面に於ける諸問題

島 村 俊 彦

目 次

は し が き

- 一、人口趨勢——經濟的局面(第一章)
- 二、經濟的機會の地域的分布(第二章)
- 三、人口再配置に於ける趨勢(第三章)
- 四、再生産率に於ける地域的人種の差違(第四章)
- 五、出生率に影響する社会的諸條件(第五章)
- 六、社会の發達と教育(第八章)